

2020年10月1日に思う

突然ですが、皆さま本村広報紙「広報かわかみ」9月号はご覧いただきましたか？  
また、特にお気づきの記事がありましたか？（まだの方はぜひご覧ください）

表紙に掲載しました「職員募集」の記事について、皆さまいかが受けとめていただけただけでしょうか？本村の広報紙は、昭和32年9月に創刊しています。県内市町村の中でもその歴史は古く、私自身も職員時代に担当させていただいたこともありました。その長い歴史にあって、「職員募集」にかかる記事が表紙を飾ったのは、今回が初めてだと思います。

それは決して、行政が「内向きな姿勢だから」ではありません。ましてや、「大きな事業や催し物がなかったから」でもありません。それは、村民の皆さまに「水源地の村づくりをより強力に推し進めるためには、その原動力となる人材がいかに大事であるか」ということを共有していただくために、「私の意思」を反映させていただいたものです。

私は常々、過疎地や山間へき地における公務員の役割は非常に大きいと主張してきました。少子高齢化のなか、かつ民間活力の導入も限定的なこの村にあっては、役場職員や公務員に対する地域住民の期待は絶大であると感じています。それは「万能人間」的な要素をも求めているのかも知れません。そんなご期待に精一杯応えたいと思います。そのためにも「ふさわしい人材」にめぐり会う努力を重ねてまいります。

まだ見ぬ「あなた」との、新たな出会いを求めて。